

交番磁界治療器エイトを用いて 疼痛軽減を認めた回復期病棟での症例報告



医療法人陽心会 大道中央病院
リハビリテーション部
理学療法士 田中 省冴 様



【背景】

当院は沖縄県那覇市の中心に位置しており、回復期病棟115床、地域包括ケア病棟60床、一般病棟49床、関連施設を多数併設している。その為入院から在宅までシームレスに患者の状態を把握できるシステムが構築されている。中でも回復期の機能的役割は大きく、患者の生活の再建を目指し、患者さんの“できる”を増やす重要な位置づけとなる。急性期を終え、再度自分で生活が出来るようになる為に疼痛は大きな疎外因子の一つとなりえる。今回交番磁界治療器「エイト」を使用することにより、疼痛緩和や早期にADL向上につながった症例を経験したため報告する。

【症例報告】

<症例1>

70代女性。交通事故によりC3椎体前方骨折、骨盤骨折、その他多数骨折あり。発症7ヶ月（途中誤嚥性肺炎発症により転院歴あり）左肩甲上腕関節の拘縮に伴う可動時痛が主訴の症例

<症例2>

90代女性。第一腰椎圧迫骨折により起居動作時に右腰部～臀部にかけての疼痛がNRS8～9と強い訴えの症例

【治療経過・結果】

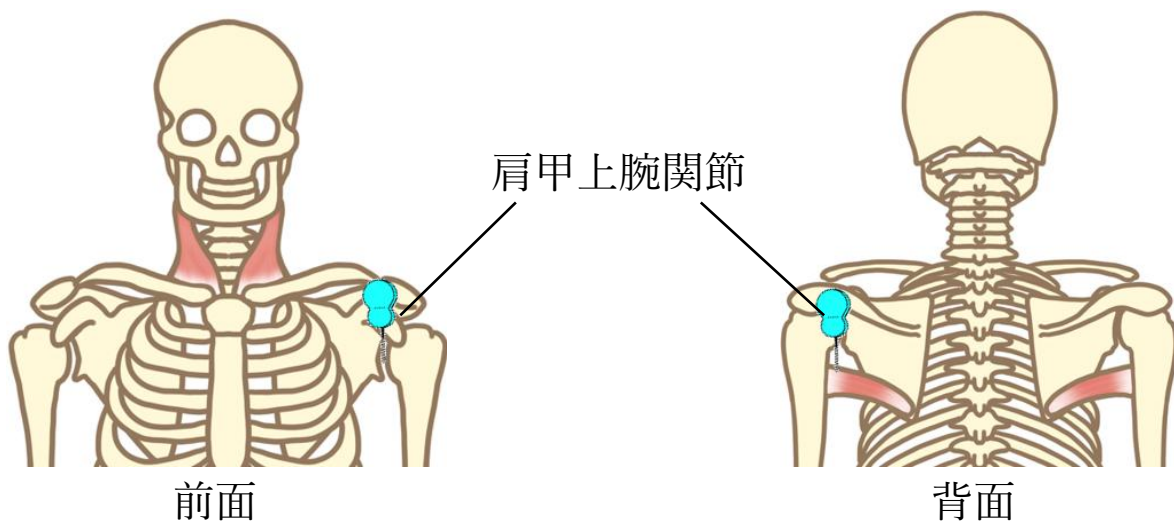
2症例とも、リハビリ開始前の時間帯で30分/回×1~2回/日で対象部位に対してパッドを装着した。エイト使用による有害事象は認めなかった。

<症例1>

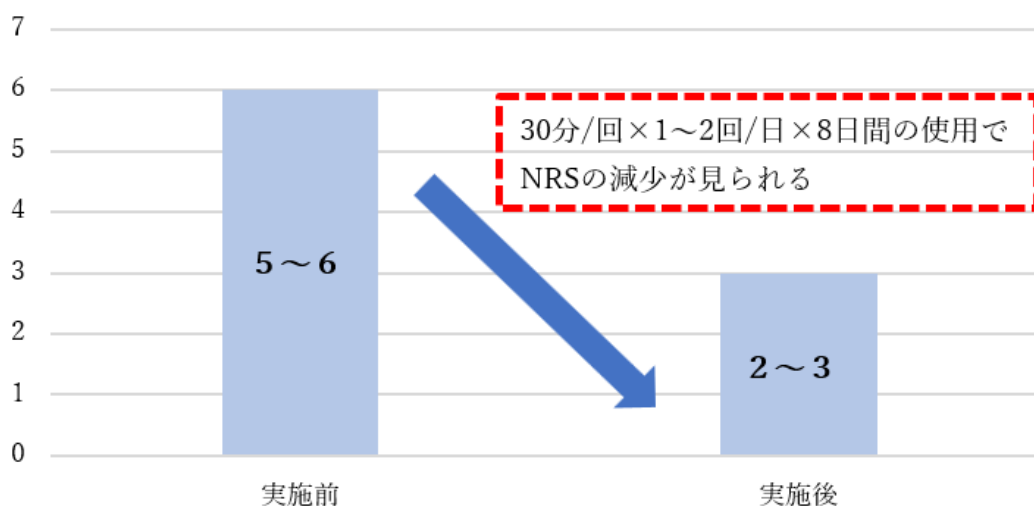
パッド2個を左肩甲骨上腕関節を覆うように装着し実施した。実施前、安静時の疼痛強度はNRS5~6、更に基本動作介助量は全介助であるため、体位変換時やポジショニング設定する際にも同様に疼痛の訴えがあった。使用期間は8日でエイト付属の「痛みの日誌」にて症例とその日の痛み、実施後の痛みの変化を視覚的にも共有した。安静時痛は使用後NRS2~3まで改善した。疼痛軽減に伴い、体位交換やベッド上ポジショニングが容易となった。

【症例1：パッドの当て方】

パッド2個を左肩甲骨上腕関節を覆うように装着



<安静時>エイト実施前後のNRS推移

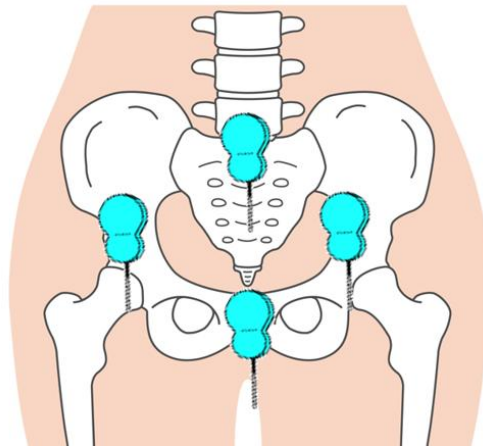


<症例2>

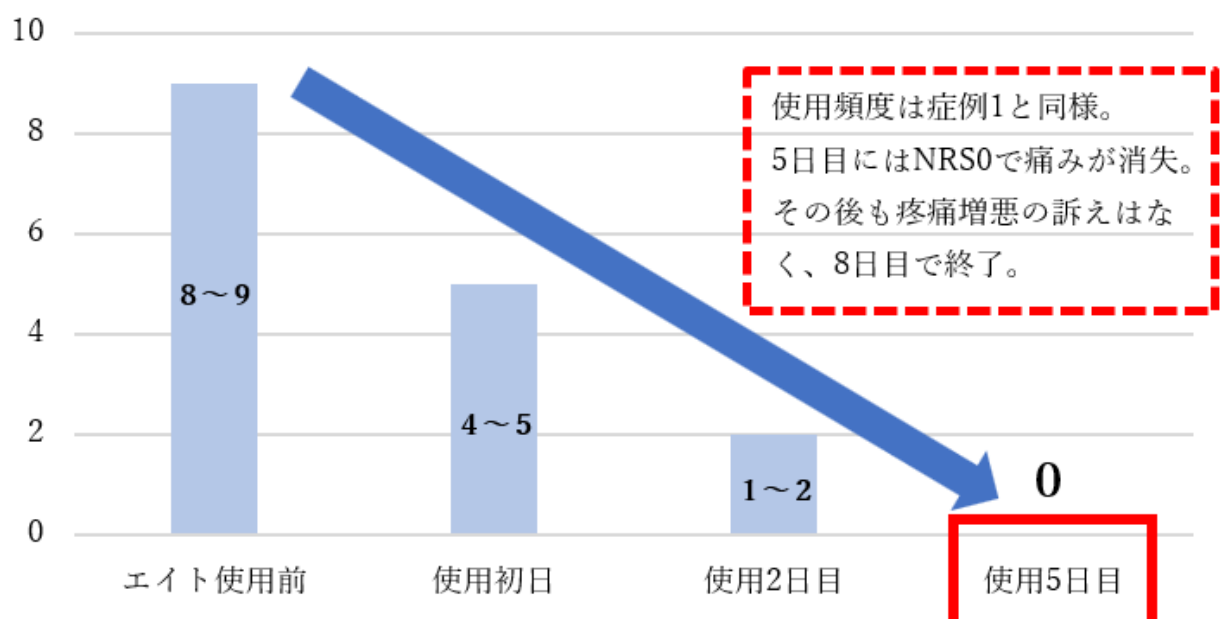
起居動作時にNRS8~9の症例。パッド4個を疼痛訴えのあった両側梨状筋、尾骨を囲むように装着し実施した。装着使用初日より効果が見られ、初日の使用後はNRS4~5と改善した。使用開始2日目から疼痛が更に改善し、NRS1~2となった。5日目にはNRS 0 と痛みは消失した。起居動作や座位保持、移乗の基本動作が円滑に可能となった。その後も使用継続したが、疼痛増悪等の訴えはなく、8日目にて終了した。

【症例2：パッドの当て方】

パッド4個を、①両側梨状筋 ②尾骨を囲むように装着



エイト実施前～数日間のNRS推移



【考察】

疼痛は防御性の反応として筋緊張を高め、関連運動の制限に繋がる。回復期では、主に日常生活の自立を退院の目標にする場合が多い。重症例においても、将来的に二次的な合併症を防ぐことや、出来るだけ残存機能の維持や向上を図ってシームレスに次のステップへ移行出来るように多職種で日々切磋琢磨している。

症例1は非常に重症度が高く、日常的なケアにおいても疼痛が原因で慎重に時間をかけながらのケアが必要であった。エイト使用による安静時の疼痛軽減は、動かされることによって生じる痛みに対しての防御制の筋収縮の軽減につながり、除圧の為定時の体位変換やポジショニングを設定する際の時間短縮に繋がった。症例2では即時効果が見られた為、セラピストによる積極的な介入や動作指導にて体幹前面筋の賦活が行えた。疼痛による代償的な筋の使い方を極力抑えながらの動作獲得が早期に可能となったため、効率的なADL獲得に繋がった。

当院では5台導入しており、今後もリハビリテーションとエイトを併用し様々な疾患に対して効果検証していく必要がある。

本製品の薬事承認された使用目的は、「2種類の交番磁界を経皮的に照射し、神経を刺激することで疼痛を緩和させる」ことです。本症例報告は疼痛緩和を目的にエイトを使用した際の臨床使用経験を示しておりますが、実際にエイトに使用される際は上記使用目的およびエイトの添付文書等に記載の使用方法等をご確認頂いたうえで、それぞれの患者様への使用適否をご判断いただきますようお願い申し上げます。

薬事情報

販売名：エイト

承認番号：30400BZX00015000

一般的名称：交番磁界治療器

医療機器クラス分類：クラスII

(管理医療機器 特定保守管理医療機器)

株式会社P・マインド

〒861-5525

熊本県熊本市北区徳王2-8-6

TEL 096-223-6923

MAIL contact@p-mind.co.jp